

校訓

明 信 覇
朗 念 氣



発行 県立富士宮北高等学校同窓会
北嶺会
静岡県富士宮市北町230 (北高内)
電話 (0544) 27-2533(代)
編集 北嶺会広報部
部長 内藤修次
印刷 (株)きうちいんさつ



なつかしの旧本館と望月軍四郎先生



新校舎正面玄関



創立五十周年を迎えるにあたって

校長 岩田 豊

台にして本校の一層の躍進を実現すべく意を強めた次第です。

昨年、本校創立五十周年記念事業の実行委員会名譽顧問就任を要請するため望月軍四郎先生を訪ねました。先生は「財団法人大宮育英財団記録」の九十頁にも及ぶ資料を作成して待っておられました。私の話を聞かれて「できるだけの協力をさせていただきます。この資料が役に立てば幸いです」と言っておられました。その資料を差し出されたとき、創設者並びに財団に対して報恩の気持ちをこめて、実のある記念事業を実施し、それを踏みに移管されました。

会員各位へのお願ひ

北嶺会会長 菊池千秋

北嶺会会員一万二千余名のほる皆様方には益々御健勝にて各界におたり活躍のことと心よりお喜び申し上げます。北嶺会だよりも昭和五十六年六月一日発行の創刊号より回を重ねて今年第十四号と相成り、その間会員の皆様には物心両面にわたりご支援ご協力を賜りましたことを紙上に以て厚く御礼申し上げます。今後とも高層のお力添えを頂きたく

した。その内容として、次の四点を考えております。(一)記念誌の発行。写真を中心にしたアルバム形式にして、変遷の過程を創設者及び育英財団、学制や学科編成、卒業生や教職員、施設設備と校庭の緑、部活動の足跡、学校行事などを書きながら纏めてみます。(二)記念式典及びアトラクション。本校関係者が一堂に会して五十周年の歴史を祝い、明日への飛躍を祈念し力を結集する催しにしたいものです。所謂、祝辞だけで終るのではなく、卒業生の「母校を語る」というような話をお願いして、特に生徒に対して学校のよって立つ所以を認識させ、愛校心を喚起したい所存です。また、アトラクションには卒業生の里見浩太郎氏が予定されています。(三)施設、設備の拡充。特に体育施設を拡充したい(この実現には困難もある)ということ、生徒や教職員並びに外郭団体の皆さんに協力していただいで、自分達の手に残るものを造って後輩に残したいと考えております。本校には、学校を象徴する中央並木道があり、また、ゆとり、豊かさというメンタルな面を重視して施設にゆとりや潤いがあります。これを、もう一歩中まで踏み込んだ所に気軽に、心を休め、友と語り合える庭を吾々自身の手で造る計画であります。(四)半世紀を歩んできた本校の客観状況は決して樂觀を許されません。建学の精神よき伝統を伝承することを基盤にしながらも、変動の激しい時代の要請や本校の現状をきびしく分析して教育目標や方針を見直していきたいと存じます。五十周年記念事業、菊池実行委員長を中心に北嶺会PTAの皆さまと学校が力を結集して、この事業が成功するよう祈念して筆を置きます。

周年記念事業、望月軍四郎翁の顕彰会実行委員会への協力、又創立五十周年事業の一環として多目的に使用出来るまた今までの名簿より、更に正確な北嶺会名簿作成等私達役員だけの力ではどうにもなりません。目下のところ事業計画にもついて進行中であり、北嶺会会員各位におかれまして、右の事業計画に御理解と御協力を賜ります様役員一同に代りまして心よりお願いを申し上げます。尚誌上を以て御願ひでございますが、五十周年記念誌掲載のため、なつかしい資料(写真、記録等)又、会員名簿作成に当って住所不明者の判明の場合には北嶺会事務局迄御連絡頂ければ幸甚でございます。会員皆様方の益々の御健勝をお祈りして御願ひの挨拶いたします。

大学・短大合格状況

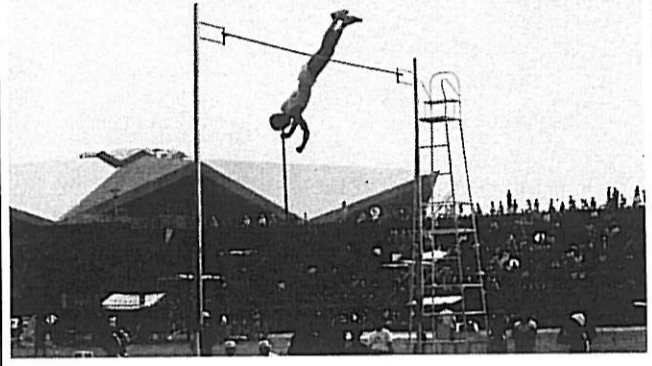
Table showing university and short university admission statistics. Columns include university names (e.g., 国学院大, 立正大学), counts, and gender indicators (男子, 女子).

部活動の紹介

陸上部

佐野浩之

この度、日本代表選手として、七月十六日〜二十日にアテネで開催される第一回世界ジュニア大会に出場することになりました。この大会は、二十歳以下のオリンピックのようなもので、レベルは非常に高く、日本選手ではとても相手にならないと思います。そんな中、試合に出ても勝つことは難しいが、自分なりの跳躍をして、自己記録を出したいと思っています。



庭球部

佐野美穂子

私達庭球部は、以前は東部でも負けるくらいにチームでしたが、今年初めて全国高校総体の個人、団体両方に出場することになりました。昨年の新人戦では個人は焼津、団体は宿敵焼津を敗ったところで、浜名に負け、たいへん悔しい思いをしました。冬の東海室内大会では、一、三位と好成績を残すことが出来ました。そして高校総体予選では、個人に七アも出場しました。しかし、個人は焼津に敗れましたが、団体はその焼津を倒して念願の高校総体出場権を手に入れることが出来ました。その瞬間ほど感激したことは過去にありません。また、東海大会では、強敵の愛知を倒せなかったものの、団体二位、個人一、二位と好成績をおさめ、先日は北海道での全

相撲部

渡辺良正

自分が初めて全国大会に出場したのは、去年のインターハイです。その時には、三年生が四人で、ポストが一人あっていたので、好運にも出場することが出来ました。その時北高はベスト四の実力を持ちながら、優勝した明大中野と一回戦であたり、敗れてしまいました。先輩達は悔し涙を堪え

産業別就職状況

Table showing employment statistics by industry. Columns include industry names (e.g., 金融・証券, 製造業), counts, and gender indicators.

昭和六十年度部活動の記録

- List of sports records for the 60th year. Includes categories like 陸上部 (High Jump: 1st, 2nd), 相撲部 (Sumo: 1st, 2nd), 柔道部 (Judo: 1st, 2nd), 剣道部 (Kendo: 1st, 2nd), etc.

あの人・この人

心豊かに

杉沢和



杉沢和 一 府中市 本宿町二二一八

心底に思うことは、大体皆同じもの様である。環境によって部分的に強弱があり、又実践率の高低には個人差がある。私の父は銀行員から軍需産業・製紙業界へ、商売の掛引の妥協を幼な心に垣間見て商を嫌悪し、加えて在学中途、初代相業校長の転職と戦争突入等条件が揃い、職業軍人を目指す。我が道を得たりと思いきや……この時期から行動派に変身、陸軍生徒、原隊に配属、敗戦捕虜、常に反骨し、闘争に終始、注意人物のレッテルは付いて

二十一世紀に想うこと

藤原明 東海瓦斯株式会社社長(工四回卒)



今日の慶日、四〇三名の皆様、御卒業と同窓会入会おめでとうございませう。また、この会を進行されるにあたって御尽力された幹事の皆様には、同窓生の一入としてお礼を申し上げます。

誠実

牧野利夫



富士宮商学校第二回生(現富士宮北高)卒業後、中央大学経済学部に進学。卒業後は家業に専念、牧野家は富士宮市内で屈指の名家。鎌倉時代から名主をつとめ上野郷において、蒙士南条氏を助け地方自治発展に尽力した事は有名である。寛政二年(江戸後期徳川家斉の時、西暦一七九〇年)に創業した造り酒屋から三代目社長となり、清酒「白米」の発売元として知られている。先代の薫陶を受け継ぎ率先垂範をモットーに酒造りに励む一方「おい

話を中心掛ける。またたけになる要素は、時として自己中心とした利害、感情、過去に体験した知識と先入観に固執する。素直になれなくて裸の俵の会話は破綻する。着色したレンズを通して見る判断は、言動に動かし難い性質らしく、後悔する事が多い。今では対立しつつも調和する事を会得したのも年輪のせいばかりではない様だ。みずからの生活を物心ともに、より豊かに快適にと願い、口滑な会話を自慢出来る。

ALL-ALL FOR ONE、のやる気の問題で仕事を通じて社会に貢献したい」と結ばれた口元にかつての北高健児の心意気を強く感じ

又一方、富士宮市の活性化発展のために元富士宮北高の校長であった、吉田藤氏の後援会長として吉田市政を誕生実現させた立役者であり地元名士でもある。又県酒造組合理事(富士支部長)をはじめ、市社会教育委員副委員長等重職を歴任

量は今では二億キロリットルくらいにまで減少しています。これは一言でいえば軽薄短少への移行によるものです。原料をたくさん使わずに済む経済への変化、ハイテク産業への衣替えにより、成長を維持してきたのです。インフレーション(変革)と呼ぶにふさわしい体制の強化を固めて行なうたことではないでしょうか。

今村堯氏(行年六十歳工業第二回卒)の急逝を心からお悔み申上げると共に哀生産を美德とし、情報やサービスに疑問符を付ける人もいますが、これからはこれらの部門こそ取り組むべき分野であることは間違いないと思います。

た。家族は、令夫人・長男と三人家族、好きな言葉は「誠」趣味は読書と旅行。六十歳ますます円熟の境地の重鎮である。

今村堯氏の死を悼む



菊池千秋 北嶺会会長 悼の意を表します。兄は去る六月十一日夜心筋硬塞のため他界されてしまいました。以前病に倒れはしましたがその後順調に回復され、同窓会の相談役として元気に活躍され、亡くなられた前夜も富士急ホテルに於いて創立五十周年記念事業等の議案も作られ、座長として元氣一杯に議事進行役を果して下さりました。この、翌夜急逝の訃報に接し余りの衝撃に私自身涙もなくなり、みれば兄は昭和四十八年より五十九年迄十一年間の永きにわたり北嶺会々長として、その発展に尽して下さり今日この確固たる基盤を作った御苦労様でした。本當に御苦労様でした。の一言でございませう。今後来るべき諸事業を完うする為にも兄の力を借りる事を期待しておいたわけですが、併し天命の至すところ止むを得ません。これからは私達一同力を合せ、無事大役を果たす所存です。どうぞ霊界より我々を見守り無言の励ましをして下さい。ここに

今日お話ししたことが少しでも皆様の参考になれば幸いです。ご静聴有り難うございました。(二月二十八日・入会式の砌)

60年度北嶺会の動き

- 6月7日 役員会(富士急ホテル)
60年度総会日時及び場所等選定、決算予算書類審議及び北嶺会だより発刊準備打合せを行う
6月21日 北嶺祭見学(菊池会長他)
6月24日 立の富士・十両昇進祝賀会(プリンス会館・魚勝)
7月28日 60年度総会・富士急ホテルにて開催
富士宮市助役 佐野卓司氏記念公演
北嶺会だより13号配布
10月5日 関東北嶺会横浜大会出席・市野副会長
10月25日 役員会(富士急ホテル)各支部
61年2月28日 北嶺会入会式
新入会員 四〇三名
累計 二二六七名
出席 杉沢和・内藤・市野・大石・今村
講演「21世紀に想うこと」
3月1日 北高卒業式(北高)
出席 内藤・市野・今村・高山・渡辺
4月5日 北高職員歓迎会(サンパレス橋本)
出席 菊池会長・森本・市野・内藤・大石
4月8日 北高入学式(北高)
出席 森本・大石・市野出席
5月9日 役員会(富士急ホテル)
5月24日 支部代表者会議(富士急ホテル)
創立50周年記念事業について
望月軍四郎翁顕彰募金について
5月28日 創立50周年記念実行委員会全体会議(北高会議室)菊池会長以下10名出席
6月5日 三役会(富士急ホテル)
50周年、望月軍四郎翁、同窓会名簿について
6月10日 役員会(富士急ホテル)
50周年、望月軍四郎翁、同窓会名簿について
6月14日 今村前会長葬儀 会長以下多数参列
6月19日 役員会(富士急ホテル)

謹んで貴兄の冥福を祈り、安らかに昇天して頂く事を念じます。私達一同も今後北嶺会発展のため一層の献身をお誓い致します。合掌

編集委員 内藤 修次 清 延吉 渡辺 俊六

北高のあゆみ

県立移管の前後

池田 宏



富士宮市源道寺町六四八在住
県立富士宮農高教頭
電話が二二三回町の
喫茶店「マルジュー」でお
会いし、商業科の教員とし
て招かれた。先生の語る創
立者故望月軍四郎先生の燃
えるような郷土愛からの建
学の精神を拝聴し、県立移
管後の構想なども私の如き
若輩に熱をこめて話された
私も感動して、当時内定し
ていた会社を断わり、教員
免許状の申請もあと廻しに
して、有難度い要請にお応
えした。実業高校一ヶ年間
は、静かな教育愛に燃えさ
る秋山校長以下それぞれさ
らしい個性をもった先輩教
師に恵まれ、毎日が楽しく
自分が選んだ道に間違い
のなかったことに満足した
校訓の「霸氣」「信念」「明朗」
についても「霸氣とは何か」「
「明朗とは何か」……抽象
的単語の羅列ではなくて、
生徒達に理解され実践され
ていく具体的内容について
何時間か話した。職員
のその頃のことである。
当時の建物で今はなき本
館二階の会議室で、五月は
じめの職員会議が開かれた。
私にとっては初めて
の会議で、よく小説
や映画に出てくる職
員会議なるものの雰
囲気は如何なるもの
かと、末席で謹聴し
ていたのだが、何ん
と最後に「明日日よ
り浅間さん(祭典)
ですから巡視手当を
お渡しします」と幹
事が金一封を配り歩
いたのには驚いた。
このように職員間に
和気藹々たる空気が

流れていたもので、時に黒板
に「臨時職員会議(五時)」
と赤チョークで書かれると、
先生方は部活指導を終えて
三々五々職員室に集まると、
幹事は議案ならぬ大々カン
の般若湯を各席に愛想よく
注いで過している。この一
二杯の効果たるや……職員
間を暖め、談論風発、曲に
衣を着せないすばらしい意
見などが誘発される。自家
用車通勤などない時代の
楽しい思い出である。
昭和二十八年四月から県
立となり、校名も北高等学
校と変わった。その三月の春
休みの課題は、いまは亡き
林信一先生が中心になって
の校章や模範の考案であっ
た。「北」をどのように表徴
するかが議論の中心になっ
た。図書室で方角に関する
本を調べたりして、天の北
を明るく輝く北極星(北辰)
を表わす星印と決まった。
私も模範の学年別表現は七
宝で色別にしたらどうして
しようか意見を述べた。と
かく県立校となる前夜とい
う感じで、若手教師も大い
にハッスルし、「やるぞ」
という気概が満ち満ちてい
たのである。

初代校長として城地金之
助先生・教頭として牧野太
郎先生が着任された。職員
数三十七名(留任二十名・
新任十七名)で、「普通科」
と「商業科」の二本建てで女
子も入学してきた。雰囲気
も厳しさが求められ、良い
点は残し、悪い点は改めて
学校運営の基本路線の設定
が教頭の指揮のもとで始
まった。最初「校務分掌」で
課科・学年・クラブ等の指
導目標・内容・人員・活動
計画から、書式の作成・決
裁方法まで再検討された。
三年経過して福島阿茶校長
の時である。応援指導部を
つくったかどうかという依
頼で、参考のため静岡静商
の定期戦の見学に生徒十
名を引率して草薙球場に出
掛けた。当時、県下高校野
球界を代表する両校の応援
マナーはずばりだった。
帰校して早速、加藤馨一君
を団長に十三名のリーダー
が熱心に編成準備に取りか
かった。この学校にも負
けない応援指導部をつくら
うと、大昭和製紙の応援団
長(広沢虎造氏の息子)に
来てもらい、独特のエル
の方法を工夫してもらった。
団旗も当時の高校のもの
としては大きく、布地もサラ
ッとした富士絹を使った。
校歌に乗ってへんぼんと翻
る団旗を仰ぐ時、北高健児
の決意は既に現在のように
「県下制覇」を誓う気持と
変わらないのがあったと
思う。全校生徒の協力は強
く、応援用小道具の製作な
どをはじめ、放課後の応援
祈る。

母校に想う 半世紀を回顧して

城内陸 夫



富士宮市泉町二〇四在住
(六一回卒)

初夏のある日、富士宮北
高の中央道路の桜と銀杏
(イチョウ)並木の下を逍遙
して、半世紀の歳月を過ぎ
母校の追憶にひと時を過し
た。と言うと何か詩人めい
てきさになるが、実はこの
北嶺会だよりへの寄稿を依
頼され、何を書こうかと思
い余った末の行動であつた。
南校地の南西端にある小
さな入口を上り、広いグラ
ウンドを一望した。四百米の
コースをもつグラウンドは生
徒ひとりなく、ひっそり
とたたき。西端の樫(カ
シ)の大木林は鬱蒼として
深山にいる思いになる。周
練習も少しづつ厳しく
も全員よく協力した。
私が今、北高生活十年間
を振り返る時、我儘勝手な
がら青春時代のエネルギー
を悔いなく発散できたのも
素朴で荒削りながら純心な
生徒達と、人間性豊かで強
い教育愛に燃えていた先輩
同僚の先生方に巡り会えた
お蔭と感謝している。私は
その後、静岡商に転任して
二十三年を過ごし、昨年懐
しの富士宮に戻ってきたもの
の、北高のうつそつたる桜
並木を見るにつけ、あの狩
野川台風の余波で目茶目茶
に引裂り返った桜の一本一
本を植え直した時の生徒や
先生の汗に濡れた顔々が浮
かび上り、何やら熱くなる
のである。ひたすら北高の
ご発展と北嶺会のご活躍を
祈る。

城内陸 夫

富士宮市泉町二〇四在住
(六一回卒)

辺をすずかけの木(アラタ
ナス)、銀杏、ひまわりやす
ぎなどの深い木立が囲み、
緑の芝生に覆われたグラ
ンドは昔の姿を残している。
惜しいかな、富士山は雲に
隠れて見えなかった。
東側から中央道路を散策
する。両側に桜と銀杏の大
木が交互に並ぶ幅広い道路
は舗装され、生い茂る枝葉
に初夏の強い陽射を遮られ
て昼なお薄暗く、人影も疎
らな静寂な境地をつくって
いる。この一本一本に、先
生と共に汗を流して幼い苗
を植えた勤労奉仕作業の思
い出が透ってくる。
校舎のある北校地も周囲
は木立に囲まれ、東北隅は
樽と櫓(クヌギ)の林で、
思い出も懐かしい榎(エノキ)
の大樹を隠し、樹下の稲荷
の祠(ホコラ)の周辺には
神秘感が漂う。当時このあ
たりは陽当りよく、級友と
寝そべり、将来の夢を語り
合っていたのが昨日のように
想い出されてくる。
校門から本館を望む。白
亜の柱に小麦色の壁を配し
た鉄筋コンクリート四階建
の近代的な校舎が樹林に埋
れるように瀟洒な姿で立っ
ている。前庭西側の木立の中
には、学校創立者望月軍四
郎先生の胸像が温顔のなか
に厳しさを湛えて安置され
ている。階上の教室には授
業を受けている生徒の姿が
見られ、はじめて学園内に
いることを思った。ここに
半世紀前に入学して学んだ
学校であると思っれている。
中に、在りし日の校舎――
木造モルタル二階建の本館
を頭として、講堂を胴体に
武徳殿(剣道場)を尾翼に
工業と商業の木造一階の東
西各一棟ずつを翼にして飛
翔する白鳳を想起させる――
の姿が脳裏に浮んできた。
そして今は故人になられた
懐かしい恩師の相葉繁先生、
佐山雄祐先生、深澤洋先生
等々多くの先生方の面影を
さらに健在でおられる先生
方を思い浮べた。
昭和三十三年四月、夢と希
望に胸を膨らませて入学し
たときには、富士山を背景
にした三万七千坪の広大な
校地は、雲雀ヶ丘の名に相
応しく、雲雀の飛び立つ草
原であり、木造一階の校舎
が二棟こじんまりと東西に
一列に並んで立っているだ
けであった。あれから半世
紀の歳月、時代の試練と変
遷を経て今日の富士宮北高
等学校に成長した。学園を
彩る緑の樹々と共に、それ
には幾多の学校関係者の献
身的な努力と、地域の方々の
絶大な支援があったのであ
るが、
望月軍四郎先生の学校創
立の精神は、父母への孝養
と郷土に対する報恩感謝の
念から、明日の地方商工業
の中堅になる人材の養成を
目的とした先覚的な識見で
あつた。卒業生一万二千人
は郷土の富士宮のみならず
県内外にあって、商工業
を含む産業経済界に、学界
に、政界にまで幅広く活躍
して、創立者の精神は
見事に生かされてきている。
優れた自然環境は人をつ
くする。卒業生ひとりひとり
の心の奥には、感受性に富
む多感な青少年時代を過し
た母校の、この自然環境の
深さと重みが知らず識らず
のうちに焼きつけられてい
たのではないだろうか。
卒業生の皆さん、毎日の
繁忙な生活の中のひとときを
母校に思い馳せてみませ
んか。あの秀麗な富士山を
背景に、緑の樹々に覆われ
た母校を、この母校の自然
景観に感動を覚えたことは
なかったでしょうか。中央
道路の桜と銀杏の並木道、
桜花咲き乱れた様子。緑滴
る五月の新緑に、銀杏の葉
の黄金に色づく秋の紅葉に、
また冬枯れの並木道に。白
銀に眩む雪の日に。
勉学の疲れを緑の樹々に
慰められたことは、運動に
疲れたからだを癒してくれ
たのは深い木立の緑陰では
なかったでしょうか。失意
に沈んだ心に慰めと再起を
促してはくれなかったでし
ょうか。
私は還暦を過ぎた卒業生
のひとりです。これまでに
は母校に失望を感じたこと
は母校の芳しくない風評に心
を暗くしたこともありまし
た。でも、それは皆人に起
因することでありました。
野性味を残した緑濃い樹々
の自然は母校への愛着を湧
かせてくれます。
人は替り、校名や校舎は
変わっても、半世紀の歴史
を刻む母校の素晴らしい自然
環境に想いを寄せて。



デビュー当時の
里見浩太郎と写真部員

このように職員間に
和気藹々たる空気が

流れていたもので、時に黒板

練習も少しづつ厳しくも全員よく協力した。

念から、明日の地方商工業の中堅になる人材の養成を目的とした先覚的な識見であつた。

住まいの本格的プラザ

市川家具センター

取締役社長 市川 昌 毅 (商四回卒)
富士宮市宮町十番七号 ☎五二一七(代)

贈り物の専門店

貴幸

久保田正 幸 (昭和39年度卒)
富士宮市西町商店街 ☎三〇三三四

安心して乗れる

石川タクシー

常務取締役 井出 武 男 (昭和27年度卒)
配車センター
吉原(一)二二二
富士宮(三)二二三
富士(三)二二三

御贈答用品・記念品
機械工具・建材・家庭用品

株式会社 西川

取締役社長 西川 昭 吾 (商四回卒)
富士宮市宮町四番十七号 ☎二一八五

国内旅行は赤い風船・海外旅行はマツハ

株式会社 日本旅行

所長 渡辺 俊 六 (昭和35年卒)
富士宮市中央町六十一 ☎三二五八

ビジネス&レジャーに
大小宴会・各種パーティ・お会合に

富士宮富士急ホテル

常務取締役 清 延 吉 (県立一回)
営業課長 渡 延 仁 (県立九回)
富士宮駅前 ☎四六六六

あなたの町のあなたの静岡銀行

株式会社 静岡銀行 富士宮支店

支店長 池田 信 夫 (昭和33年卒)
富士宮市宮町八二七 ☎二八一一

手塩にかけた製品をお届けする

株式会社 きりぎり

代表取締役 木内 久仁彦 (県立九回)
富士宮市若宮町一四〇 ☎二四〇五五